



保健のページ



【9月9日は救急の日】

お子さんの急病や、怪我、事故などで「通院した方がいいのかな?」「明日まで様子をみてもいいのかな?」と悩まれたことはありませんか?

そんなときに使える便利なツールをお伝えします。

① こどもの救急(ONLINE-QQ)

- ・受診をした方がいいか、ご自宅で様子を見たら良いかの判断を助けてくれます。
- ・6歳以下の小児が対象です。
- ・スマホで検索できます。

② こども救急ガイドブック

- ・冊子がPDFになっており、ダウンロードして使用可能です。

③ #8000

- ・電話で相談ができます。
- ・15歳未満の子どもが対象です。
- ・看護師や小児科医師へ相談できます。
- ・19時～翌8時まで利用可能。土曜日は15時～翌8時です。

④ 京都健康医療 よろずネット

- ・いますぐに診てもらえる医療機関を検索できます。
- ・休日・夜間当番医を探すことができます。

●あらかじめ元気な時に確認いただき、いざというときに役立てていただけると幸いです。

【傷は消毒した方がいいの?】

ひと昔前は、擦り傷などは消毒し、絆創膏やガーゼを当てていました。最近では、清潔に洗い流したら、乾燥させずに治すという「湿潤療法」が一般的になっています。

なぜ消毒しなくなったのかというと、消毒液は、ばい菌をやっつけることもできるのですが、傷口から出る浸出液も殺菌してしまいます。浸出液は、傷が治る細胞を増やす働きがあります。そのため、消毒液を使用しない方が良いというように変化しています。

やけどや靴擦れなどで水ぶくれが出来たときも、水ぶくれはそのまま破らないように保護します。

水ぶくれの中は、無菌状態で皮膚の再生を行っています。

しかしながら、化膿してきたり、傷が大きく開いている場合、洗っても汚れを落としきれない場合、動物に噛まれた場合には通院し、適切な処置をした方が良いです。

看護師より

